

令和 4年度 ( 3年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2363
	基本事業	子どもの心身の健やかな育ちへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	母子健康相談事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	妊娠～出産～乳幼児期を通し、適切な時期に、保健指導、健康相談、各種健康教室を実施することで、母子の健全な育成と安心・安全に育児できる環境を整える。			
	年度概要	妊娠期：はじめてのパパママ教室、さくらんぼ教室(マタニティ編) 乳幼児期：4か月児相談、乳児相談、ことば相談、のびのび教室、ひまわり個別相談、さくらんぼ教室(子育て編)等		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)	

【事業の目的】

対象(何を)	妊産婦及び乳幼児
意図(どのような状態にしたいか)	妊産婦の育児不安感や負担等を軽減し、母子の健全育成を支援する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
各事業開催回数	回	4,243	3,332	3,250	1,727	1,727

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
	各事業参加者数	人	目標値	32,680	32,680	13,200	13,200	13,200
			実績値	18,294	9,583	9,791		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 平成 28 年度で各地区で実施していた母子健康教育・母子保健セミナーの事業が終了したことや乳児相談が予約制になったことで開催回数、参加者数が共に減少している上、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の中止や縮小が重なり、目標が達成できていない。 (目標達成度)						(達成度) 74.2%	25点
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成 3年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(予算)
トータルコスト	[円]	53,749	53,525	53,778	54,806
(事業費)	[円]	8,980	9,381	9,233	10,261
(職員人件費)	[円]	44,769	44,144	44,545	44,545

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

参加者数は減少しているが、事業内容や方法について、今後も、対象者のニーズを取り入れながら継続支援していく必要がある。また、引き続き新型コロナウイルス感染症を考慮した実施方法を検討する必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

事業内容や方法について、今後とも、対象者のニーズを取り入れながら継続支援していく。

令和 4年度 ( 3年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2363
	基本事業	子どもの心身の健やかな育ちへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	こにちは赤ちゃん事業(新生児訪問指導)		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	乳児の健全な育成環境の確保を図るため、生後間もない乳児(生後4か月未満)がいる家庭を助産師や保健師などが家庭訪問し、専門的な立場から様々な悩みを聞き、子育て支援に関する情報の提供、母子の養育環境等の把握や助言を行うとともに、支援が必要な家庭に対し適切なサービスの提供につなげる。				
年度概要	妊産婦及び新生児等のいる全家庭約3,000件を訪問し、地域の育児支援情報の提供等により育児不安等を軽減し、育児支援を実施する。				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)		

【事業の目的】

対象(何を)	高松市内の新生児と産婦
意図(どのような状態にしたいか)	産婦の悩みを聞いたり、子育て支援に関する情報の提供、母子の養育環境等の把握や助言、支援を行うとともに適切なサービスの提供につなげ、子どもが健やかに生まれ育つ環境を整える。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
産婦訪問数	人	3,180	3,061	2,917	4,000	4,000
新生児訪問数	人	2,944	2,704	2,745	4,000	4,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
成果指標	新生児訪問指導の未把握数	人	目標値	50	50	50	50	50
	実績値	34	34	20				
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標を達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 160.0%
	35点							
成果指標	訪問実施率	%	目標値	100	100	100	100	100
	実績値	92	88.3	88				
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標値に近い形で支援ができてはいるが、新型コロナウイルスの影響により訪問控えの傾向があり、訪問実施率が低下した。 (目標達成度)							(達成度) 88.0%
	30点							

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
トータルコスト	[円]	36,581	36,630	37,103	39,207
(事業費)	[円]	23,681	23,911	24,268	26,372
(職員人件費)	[円]	12,900	12,719	12,835	12,835

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
費用対効果、貢献度共に変わらないが、訪問実施率が新型コロナウイルス感染症の影響により低下した。引き続き、訪問実施率100%を目指す。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりに有効な事業であるため、継続実施する。			

令和 4年度 ( 3年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2363
	基本事業	子どもの心身の健やかな育ちへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	不妊治療支援事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	不妊治療の経済的な負担を軽減するため、医療保険が適用されず高額のコストがかかる、夫婦間の特定不妊治療及び医療保険が適用されない、夫婦間の一般不妊治療(人工授精)に要する費用の一部を助成する。【令和4年度においては、不妊治療の保険適用に伴い、移行期の経過措置として、3年度中に開始し4年度中に終了する1回の特定不妊治療に対し、1回に限り従来の助成を行うこととする。】				
年度概要	都道府県、中核市等が指定した医療機関で特定不妊治療をしている妻の年齢が42歳以下の夫婦に対し助成する。なお、39歳以下は通算6回まで、40歳以上は通算3回まで助成する。【令和4年度からの不妊治療の保険適用に伴い、移行期の経過措置として、年度をまたぐ1回の特定不妊治療についてのみ、従来の助成金制度の対象とする。】				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	3-	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務有)

【事業の目的】

対象(何を)	特定不妊治療及び一般不妊治療の助成を受けようとする夫婦(令和4年度においては、不妊治療の保険適用に伴い、従来の特定不妊治療・一般不妊治療の助成制度は終了し、移行期の経過措置として、3年度中に開始し4年度中に終了する1回の特定不妊治療を受けた夫婦について、1回に限り助成の対象とする。)
意図(どのような状態にしたいか)	子どもを望む夫婦に対し、保険診療対象外の特定不妊治療費及び一般不妊治療費について、その一部を助成することで、経済的負担を軽減する。(令和4年度は、不妊治療の保険適用に伴う移行期の経過措置として、3年度から4年度に年度をまたがる1回の特定不妊治療についてのみ助成する。)

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
特定不妊治療助成事業助成件数	件	550	556	915	415	415
一般不妊治療助成事業助成件数	件	79	207	260		

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
特定不妊治療助成件数	件	目標値	581	608	608	415	415
		実績値	550	556	915		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 150.5% 35点
一般不妊治療助成件数	件	目標値	100	200	400		
		実績値	79	207	260		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 65.0% 22点

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
トータルコスト	[千円]	122,959	122,587	239,738	87,676
(事業費)	[千円]	114,612	114,357	231,433	79,371
(職員人件費)	[千円]	8,347	8,230	8,305	8,305

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	縮小
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

令和3年1月以降治療終了分から助成対象・内容を拡充したことにより、令和3年度は助成金申請件数が大幅に増加したが、一方で、4年度からの不妊治療の保険適用後、医療費の自己負担分が増加するのではないかという問い合わせを多く受けた。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

令和4年度からの不妊治療の保険適用に伴い、逆に、これまでより医療費の自己負担が増えるケース等について支援の必要があると捉え、今後、市独自の新たな助成制度の構築について検討を進め、引き続き、不妊治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減を図っていく。

令和 4年度 ( 3年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2363
	基本事業	子どもの心身の健やかな育ちへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	各種医療給付事業		事業期間	平成 28年度 ~ 令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	小児慢性特定疾病対策事業、身体障害児童育成医療等給付事業、未熟児養育医療給付事業：各事業の対象疾患又は障害等により療養を必要とする児童の健全な育成を図るため、その治療に係る費用の一部を助成する。 妊娠高血圧症候群医療給付事業：母体保護と経済的負担を軽減するため、その治療に係る費用の一部を助成する。				
	4年度概要	小児慢性特定疾病対策事業、身体障害児童育成医療等給付事業、未熟児養育医療給付事業：対象者からの申請に基づき、申請書類等の内容を審査の上、医療受診券を交付し、現物給付を行う。 妊娠高血圧症候群医療給付：対象者からの申請に基づき、申請書類等の内容を審査の上、現物支給を行う。			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業 ( 法律による実施義務有 )		

【事業の目的】

対象 ( 何を )	各医療給付事業の条件を満たす者。
意図 ( どのような状態にしたいか )	小児慢性特定疾病対策事業、身体障害児童育成医療等給付事業、未熟児養育医療給付事業：各事業の対象疾患又は障害等による療養に必要な費用の一部を助成し、経済的負担を軽減する。 妊娠高血圧症候群医療給付事業：母体保護と経済的負担を軽減する。

【事業の活動】

活動指標名 ( 具体的にどのような活動をしたか )	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
各事業の申請件数	件	1,224	1,291	1,126	1,250	1,250

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 ( どのような成果が得られたか )	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
		各事業の給付件数	件	目標値	1,250	1,250	1,250	1,250
			実績値	1,224	1,291	1,126		
成果指標	成果指標の達成度 ( 目標に対してどれだけ達成できたか )							( 達成度 )
	市ホームページ等により制度の周知を行っているが、目標の達成には至らなかった。							90.1%
								31点
成果指標	成果指標名 ( どのような成果が得られたか )	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
	成果指標の達成度 ( 目標に対してどれだけ達成できたか )							( 達成度 )

【コストの推移】

指標名	単位	平成 3年度 ( 決算 )	令和 2年度 ( 決算 )	令和 3年度 ( 決算 )	令和 4年度 ( 予算 )
トータルコスト	[ 円 ]	130,825	139,858	143,055	128,261
( 事業費 )	[ 円 ]	123,996	133,124	136,260	121,466
( 職員人件費 )	[ 円 ]	6,829	6,734	6,795	6,795

【評価】

評価ランク ( A ~ D )	A	今後の方向性 ( 拡充、継続、改善継続、縮小、廃止 )	継続
【昨年度の実施状況と課題】 ( 評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入 )			
小児慢性特定疾病対策事業、身体障害児童育成医療等給付事業、未熟児養育医療給付事業：各事業の対象疾患又は障害等により療養を必要とする児童の健全な育成を図るため、その治療に係る費用の一部を助成した。			
【今後の事業方針】 ( 評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入 )			
国等の制度内容を踏まえ、支給要件等の再確認を行うなど、適正な支給に努める。			



令和 4年度 ( 3年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2363
	基本事業	子どもの心身の健やかな育ちへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	妊娠期からの子育て世代包括支援事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	子育て期にある若い世代が安心して妊娠、出産、子育てができる環境の実現を目指し、妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズの支援のために、総合的相談支援を提供するワンストップ拠点(子育て世代包括支援センター)を整備し、母子保健コーディネーターによる切れ目ない支援を実施する。 また、産後ケア事業、産婦健康診査、多胎妊産婦支援事業の実施及び電子母子健康手帳の運用を行う。				
年度概要	子育て世代包括支援センターの運営 ・総合的相談支援の実施 ・関係機関との連絡、調整 ・要支援妊婦における支援プランの作成及び実施 ・子育て世代包括支援ネットワーク会議の開催				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト 1-	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)	

【事業の目的】

対象(何を)	妊娠期から子育て期にある子育て世代
意図(どのような状態にしたいか)	妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援を実施する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
母子保健相談件数	件	19,034	21,874	22,830	15,600	15,600
母子保健コーディネート件数	件	6,920	9,079	8,127	8,027	8,027

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
成果指標	把握しているハイリスク妊婦のうち支援につながった割合	%	目標値	80	90	90	90	90
			実績値	78.2	77.5	82.5		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 支援が必要な妊婦の増加に伴い、連絡がつきにくい対象者や転出ケースが増え、目標値に届かなかった。 (目標達成度)						(達成度) 91.7%	
								32点
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成 3年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(予算)
トータルコスト	[円]	69,328	85,650	93,991	105,950
(事業費)	[円]	16,212	33,276	33,591	38,000
(職員人件費)	[円]	53,116	52,374	60,400	67,950

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

子育て世代包括支援センター業務が平成 28年 4月からスタートし、母子健康手帳交付時面接から保健師等による切れ目ない支援を実施している。また、平成 29年 1月から総合センター開設に伴う母子保健コーディネーター業務の充実や子育て世代包括支援ネットワーク会議を開催し、関係機関との連携強化を図っている。令和 3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ネットワーク会議は開催できていない。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

母子保健コーディネーターと関係機関とが顔の見える関係を築き、お互いに情報共有しながら連携強化に努め、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を目指す。